

立山カルデラ砂防博物館 もうすぐオープン



▲立山カルデラの大型地形ジオラマ

「立山」というと、観光客でにぎわう立山黒部アルペンルートを思い浮かべる方が多いはず。しかし、そのすぐ南側に広がる立山カルデラは意外に知られていません。

立山カルデラは、約十万年前に立山の火山活動によって形成された弥陀ヶ原台地が、その後、常願寺川に浸食されてできた東西約六・五キロ、南北約四・五キロのくぼ地（カルデラ）とポルトガル語で「大鍋」の意味。今から一四〇年前（安政五年）の大地震では、大麓山・小麓山の大崩壊によって大量の土砂が流入しました。カルデラ内には今も約二億立方メートルもの土砂が残っており、これが一気に流れ出すと富山平野がニメートルも埋まってしまう。この土砂から県民の生命、財産を守るため、カルデラ内では明治三十九年以来九十年間にわたり、わが国を代表する砂防事業が続けられているのです。

県と建設省が共同で建設を進めてきた立山カルデラ砂防博物館は、この「知られざるもうひとつの立山」にスポットをあてるもので、おそらく世界初の、砂防をテーマとした博物館です。現在、六月三十日のオープンに向けた準備が進められていますが、一足先にその概要をご紹介します。

●新しいタイプの博物館

立山駅にある「屋内博物館」と、カルデラそのものを展示物とする「野外博物館」の二つから構成されており、従来型の屋内展示だけでなく、体験学習会と組み合わせることでカルデラの自然や砂防事業の実態を理解できるようにしています。

まさに、新しい博物館のあり方を提示するものともいえます。

屋内博物館

一階には〈大型映像ホール〉があり、日本最大級320インチの3D（立体）ハイビジョン画面で立山カルデラの風景や安政の大災害についての迫力ある映像をご覧いただけます。

二階の〈立山カルデラ展示室〉には立山カルデラの大型地形ジオラマ、アニメとカラクリ舞台で再現した安政の大災害シアター、降雨体験装置などがあり、山が崩れて土砂が生まれる様子や、土砂が日本一の急流常願寺川を流れてくぐる災害のおそろしさを体験できます。

また〈SABO展示室〉は、立山カルデラ内で行われている砂防事業を中心に紹介するコーナーで、資材や作業員を運ぶ工事用トロッコが実車展示されています。トロッコの客車は砂防工事の歴史などを紹介するブースになっており、そのうちの二両では立山カルデラへ向かうトロッコから見た風景が放映され、トロッコツアーの雰囲気も体験できます。

野外ゾーン

「現地そのものが野外展示物」として、砂防事業を実際に目で見て、体験していただくための学習見学会を、七月～十月の概ね週二回、専属解説員の添乗のうえ開催することになっています。

原則として 毎週水曜 トロッコ利用（個人対象）

第1・3金曜 バス利用（団体対象）

第2・4金曜 ♪（個人対象）

〔対象〕 小学校3年以上の健康な方

ただし、屋内博物館を見学したことがある方に限ります。

〔費用〕 参加者一部負担金として、

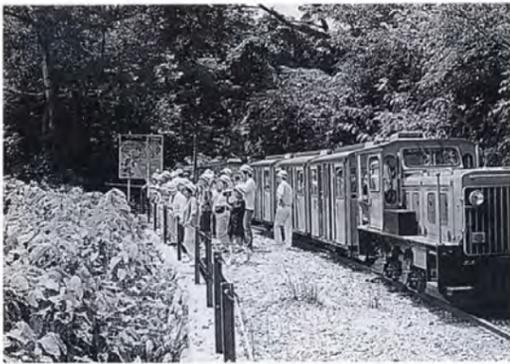
大人 1,700円 子供 1,000円 ※保険料含む。

〔応募方法〕 立山カルデラ砂防博物館、市町村窓口、県庁正面窓口などに備え付ける応募要領をご覧ください。

●新しい観光スポット

夏休みや秋の観光シーズン、立山駅前はアルペンルートに向かう観光客であふれることから、県ではこれらの方々にもぜひ博物館に立ち寄っていただき、「もう一つの立山」を知ってもらいたいと考えています。また博物館では、観光客のために立山の見どころと詳しい気象情報を提供することになっています。

立山カルデラの大自然や、砂防事業で災害を克服してきた人間の努力と英知を紹介する立山カルデラ砂防博物館。驚きと感動にきつと出会えます。どうぞお楽しみに。



◀ 昨年のカルデラ砂防見学会



◀ 立山カルデラの全景

立山カルデラ砂防博物館(屋内博物館)ご利用案内	
観覧料 (20名以上は 団体料金)	大人 400円 (団体320円) 高校・大学生 320円 (〆200円) 小中学生 200円 (〆120円) ※立山博物館(展示館・遠望館・まんだら遊苑)との共通利用券もお得です。 大人 960円 (240円お得) 高校・大学生 600円 (360円お得) 小中学生 360円 (240円お得)
開館時間	午前9時30分～午後5時
休館日	毎週月曜(祝日の場合はその翌日)
交通案内	富山地方鉄道立山駅から徒歩1分
問合せ先	立山カルデラ砂防博物館 TEL.0764 (81) 1160

◀ 富山平野に押し寄せた大転石(実物大の模型)



▲オープンに向け整備が進む立山カルデラ砂防博物館

〔立山山麓 そのほかの話題〕 立山駅～立山博物館に シャトルバス運行

立山山麓を訪れる観光客の利便性を確保するには、魅力的なスポットを結ぶ循環バスが必要です。県ではその定期運行に向けた課題を探るため、立山駅と立山博物館を結ぶシャトルバスを試験運行することになっています。立山カルデラ砂防博物館と立山博物館を両方訪れたい時にも大変便利なシャトルバス。皆さんも、ぜひご利用ください。

〔運行期間〕
7月17日(金)～8月16日(日)
9月11日(金)～9月20日(日)
10月2日(金)～10月11日(日)
※立山博物館の休館日は運休
〔運賃〕
片道 300円(こども半額)



運行ダイヤ (※寺田乗換え)

【地铁電車】	【シャトルバス】
富山駅発 立山駅着 8:29 → 9:28 9:02 → 9:52 ※10:03 → 11:07 10:26 → 11:20 11:45 → 12:46 12:56 → 13:55 13:49 → 14:52 14:37 → 15:42	立山駅発 立山博物館着 9:40 → 9:52 10:25 → 10:37 11:15 → 11:27 12:25 → 12:37 13:10 → 13:22 14:10 → 14:22 15:10 → 15:22 16:00 → 16:12
【シャトルバス】	【地铁電車】
立山博物館発 立山駅着 10:00 → 10:12 10:45 → 10:57 11:35 → 11:47 12:45 → 12:57 13:30 → 13:42 14:30 → 14:42 15:30 → 15:42 16:20 → 16:32	立山駅発 富山駅着 10:23 → 11:29 11:20 → 12:18 12:21 → 13:28 13:13 → 14:10 14:00 → 14:58 ※15:03 → 16:07 ※16:08 → 16:54 16:54 → 17:45

問合せ 富山地方鉄道 ☎ 0764-3213456